

(様式第4号)

協働推進モデル事業計画書（本提案用）

(記載が複数ページにわたっても良いので、できるだけわかりやすく具体的に記載してください。ただし、この企画書はA4サイズ4ページ以内で作成してください。)

体 名 提 案 団	団体名	CAPおかやま（担当者 山下明美）			
	合同提案団体				
協働する岡山市の 担当課等と担当者	課名	岡山市保健所 健康づくり課		電話	086-803-1264
	担当者 2名	職名	課長	職名	課長補佐
		氏名	岡崎 尚子	氏名	宮地 千登世
提案事業の名称	幼児期の子どもをもつ親への児童虐待の予防・啓発事業				
提案事業の目的	月齢、年齢ごとの発達を知り、子どもの成長に合った関わりができるようにする。困った時、不安に思った時に相談できる相談先を知るとともに、相談できる関係性をつくる。担当職員が安心して相談してもらえる聴き方を学び、日常の業務で使えるようにする。				
解決をはかりたい課題の 緊急性・重要性等（市民 ニーズ含む） ※ニーズ把握等で行 った調査資料等が ある場合は添付し てください。	<p>1. 解決をはかりたい課題と現状 児童虐待は、年々増加の一途を辿っているが、児童虐待への対応は現在、事後の「治療」の分野が主流。虐待が起こってから、子どもを児童養護施設等に措置する、ケアする、家族の再統合に向けて、と、「治療的」に関わることは、既に子どもの心身にダメージを与えた後ということになる。家族の再統合も含めた治療やケアには膨大な時間と費用が掛かる。児童虐待の防止に関わる施策を「治療」だけでなく、「予防」に広げることが急務である。</p> <p>2. 市民ニーズ 子どもの発育に関する理解が浸透しているとは言い難い。その内容を盛り込んだCAPおとなワークショップで出会う保護者の多くが「子どもがもっと小さい時に知りたかった。知っていれば、叩かずにいられたのに。」「今日からの子育てが変わります!!」との感想を寄せている。子育ての早い時期に子どもも親も安心できる子育てに変えるための情報提供が虐待予防につながる。</p> <p>3. 課題解決の方策 1歳6か月児健診、3歳児健診の待ち時間を利用し、クイズやグッズを使って子ども感覚を体感してもらう。保健師との総合相談の場で保護者の気づきを確認し、気づきを子育てに取り入れることで虐待予防の一助とする。</p>				
協働の必要性 及び効果と目標 (協働の役割分担を 含む)	<p>1. 協働の必要性と相乗効果 CAPおかやまが持っている「子どもの発達」に関する知識や情報、グッズを用いることにより、市の事業である1歳6か月児健診、3歳児健診に来られる市内在住の子育て中の親（ほぼ全員）に、安心できる子育ての助けになる情報を手渡すことができる。</p> <p>2. 提案団体が果たす役割 子育て中の親に提供する知識・情報等ノウハウの提供。 保健師への研修の提供。（子どもの発達。叩かないしつけについて。自律について。アタッチメント。親の話を聴くために等）</p> <p>3. 岡山市の担当課等が果たす役割 1歳6か月児健診、3歳児健診時に、発達についての正しい知識を伝え、子育て中の親の困り感や不安な気持ちを聴き、寄り添う。また、今後相談できる窓口や子どもの発達の記載のあるカードを配布し、それぞれの家庭に戻っても安心して子育てができるようにする。</p> <p>4. 期待する事業成果・目標値等 1歳6か月児健診、3歳児健診に来所する全子育て家庭に情報提供をする。</p>				

事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の幼児健診の各会場において実施する。(今年度は状況に合わせ、全会場での実施に向けての準備期間とする) ・子育て中の親が、子どもの視野の狭さや子どもから見たおとなの手の大きさを体感しながら、子どもが安心して育つために、どう関わる必要があるのかを、1歳6か月児健診、3歳児健診でのクイズや保健師との総合相談の場で学ぶ。 ・保健師への研修：年3回。上記の内容を周知し、親を支える聴き方、伝え方等を学ぶ。 											
事業の実施体制	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総括責任者 CAPおかやま 山下明美 2. 個別事業責任者 グッズ等作成、発注…CAPおかやま 山下明美 1歳6か月児健診、3歳児健診時での対応…宮地千登世 3. 事業実施にあたっての専門性やノウハウ <ul style="list-style-type: none"> ・知識や情報の提供…CAPおかやま ・1歳6か月児健診、3歳児健診における親への対応…岡山市の保健師 											
事業スケジュール	<table border="1" data-bbox="475 1146 1425 1422"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>実施事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6～7月</td> <td>・保健師への講座。2回 ・パネルや配布カードの作成。</td> </tr> <tr> <td>6/1～3/31</td> <td>1歳6か月児健診、3歳児健診での実施。(各保健センター等の会場にて)</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>保健師への講座。1回</td> </tr> <tr> <td>随時</td> <td>会議(月1回程度)。印刷業者との打ち合わせ。</td> </tr> </tbody> </table>		月	実施事業内容	6～7月	・保健師への講座。2回 ・パネルや配布カードの作成。	6/1～3/31	1歳6か月児健診、3歳児健診での実施。(各保健センター等の会場にて)	3月	保健師への講座。1回	随時	会議(月1回程度)。印刷業者との打ち合わせ。
月	実施事業内容											
6～7月	・保健師への講座。2回 ・パネルや配布カードの作成。											
6/1～3/31	1歳6か月児健診、3歳児健診での実施。(各保健センター等の会場にて)											
3月	保健師への講座。1回											
随時	会議(月1回程度)。印刷業者との打ち合わせ。											
実施する上で連携が必要と思われる団体と期待される役割	名称	期待される役割										
事業の展望及び今後の活動展開	<input type="checkbox"/> NPOがネットワークを構築し、他団体と連携し実施することを目指す。 <input checked="" type="checkbox"/> 岡山市の一般施策としていくことを期待する。 <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以後も協働での実施を希望。 <input type="checkbox"/> その他 () ----- 具体的な目標(計画)があれば記載してください。											

(様式第5号)

協働事業収支予算書

提案事業名	幼児期の子どもをもつ親への児童虐待の予防・啓発事業
-------	---------------------------

<収入>

費目		金額	内訳
金等 自己 資	申請団体自己資金	88,000	CAPおかやま本会計より
	合同提案団体負担金等		
自己資金等合計(a)		88,000	
事業 収入 見込		0	
事業収入見込合計(b)		0	
岡山市補助金申請額(c)		352,000	
収入合計(c)=(a)+(b)+(c)		440,000	

<支出>

費目		金額	内訳
事業 実施 経費	人件費	77,000	研修会講師料 @15,000円×3回 検診視察 @1,000円×2人×6会場 担当課との打合せ@1000×1人×15回 報告書等作成 @5000×1人
	旅費	22,500	研修会講師旅費 @500円×3人×3回 検診視察旅費 @500円×2人×6回 打合せ旅費 (@500+P@300)×15回
	消耗品費	80,500	パネル(80×60cm)@3,000×3×6 輪転機用インク@3,250 チャイルドビジョン@80×100枚 大きな手@2,000×1セット その他事務用品(コピー用紙他)
	印刷製本費	180,000	配布カード@5×15,000枚 パネル用ポスター@5,000×3種類×7
事業実施経費合計(d)		360,000	
管理 運営 経費	人件費	45,000	運営会議 @1,000円×2人×10回 企画会議 @1,000円×5人×5回
	旅費	22,500	運営会議旅費 @500円×2人×10回 企画会議旅費 @500円×5人×5回
	消耗品費	12,500	
管理運営費合計(e)		80,000	
総事業費(f)=(d)+(e)		440,000	※収入合計(c)と同額

(添付書類等) 1. 人件費等については、積算の根拠(これまでの実績や独自の単価表)を添付すること

2. 参加料などの事業収入を見込む場合は「収入見込み」欄に計上すること